

2018 年度

アメリカ留学体験レポート

留学先：セントラルミズーリー大学

留学期間：8月22日（水）～12月6日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017087
寺島和弥

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 授業の詳細	5
5	所感	5
6	おわりに	6
	謝辞	6

付録

	留学体験日誌	6
--	--------	---

1 研修先及び実習期間

留学先：セントラルミズーリー州立大学 ウォーレンズバーグキャンパス

留学期間：平成 30 年 8 月 22 日（水）～平成 30 年 12 月 6 日（木）

※帰国は 12 月 7 日（金）

2 留学先概要

(1)大学について

セントラルミズーリー州立大学は、アメリカミズーリー州にある大学である。二つのキャンパスを持っており、メインキャンパスであるウォーレンズバーグキャンパスとリーズサミットキャンパスが存在する。また、我々が滞在したウォーレンズバーグキャンパスはカンザスシティから 50 マイル東南に位置しており、自然豊かで一年を通じて多くの草木やリスなどの動物を見ることが出来る美しいキャンパスである。また食堂や娯楽施設も数多くあり、学内だけでも充足した生活を送ることができる。本学校では 150 を超える学術プログラムを提供している。留学生は我々日本人のほかにも、韓国やサウジアラビアなど、50 か国を超える様々な国からの留学生を受け入れている。学生が学内で生活することを考えられているため、学内には寮となる建物が複数備えられており、遠くの州からやって来た学生や留学生が生活する大きな助けになっている。

3 留学目的

アメリカという日本とは全く違った国の大学に通い、授業に限らず、英語という日本語とは全く違う言語体系を使わざるを得ない状況で生活することで、その語学力の向上を図り、アメリカの異文化に触れることで国による考えの差異を体験し、それに対する見地を深める。また、それを通じて人間的な成長を促す。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月日	
8月22日（水）	日本出発
8月22日（水）～25日（土）	オリエンテーション
8月27日（月）	授業開始
12月5日（水）	授業終了

12月6日(木)	米国出発
12月7日(金)	帰国

4-2 授業の詳細

以下より授業の内容を記述する。

留学中に行われた授業の内容は以下のとおりである。

月	火	水	木	金
Reading skills	Communication Skills	Reading skills	Communication Skills	American History
Writing Skills	Grammar Skills	Writing Skills	Grammar Skills	USA Japan Relations
Speech Clinic	TOIC	Speech Clinic	TOIC	
Reading Lab	Seminar in American Culture	Writing Lab	Seminar in American Culture	
			English Cafe	

i) Reading Skills (リーディング)

ななめ読みと精読を使い分ける技術を重点に置きながら、教材内の文章を読み、その内容について、あるいは単語についてクラス内で話し合った。週に一度単語テストが行われ、単語の理解度を確認した。後期には小説一冊を教材として、それについて話し合った。

ii) Writing Skills (ライティング)

文章の書き方を中心に学び、試験には一定のテーマに沿った題材を自分で決めて、それについて実際に文章を書いた。それに対して添削が行われ、それをもとに文章を改める。という形で授業が進んだ。資料集めなどでも英語を使う事が求められる。

iii) Communication Skills (コミュニケーション)

プレゼンテーションのやり方から、**Persuasive Speech** (説得力のあるスピーチ) のやり方など、人の前に立つて行う事を中心に学んだ。その見本として **TED Talk** を授業内で聞いた。また、実際に自分たちでプレゼンテーションやスピーチを行った。

iv) Grammar Skills (文法)

英文法を教材を中心に学習した。授業内では練習として他の生徒達と対話型の文法の確認が行われた。項目が終わるごとに試験が行われ、その理解度を確認した。

v)TOIC

TOIC の勉強をする授業である。基本的には問題を実際に解く、実戦形式の授業。解説の時にコツなども一緒に学習する。

vi)Speech Clinic (発音、アクセント矯正)

4～5人のグループに分かれて発音に関するゲームや対話を英語で行う。一チームにつき一人の指導役がおり、彼女らの指示に従って基本的に進めていく。授業ごとに前回の発音の成績をパーセンテージで表してもらえるので、改善していく上での大きな参考になる。

vii)Seminar in American Culture (アメリカンカルチャー)

授業の中でアメリカの文化について学ぶ授業である。授業では若者言葉(スラング)や感謝祭、音楽などに関する内容を扱った。アメリカの誕生パーティーを体験するという事で、この時間に実際にパーティーを行う事もある。

viii)American History (アメリカ史)

中学生向けの教科書を使って、アメリカの歴史について勉強する授業。分かりやすい教材を使って授業を行うが、細かい内容にまで触れる。

ix)Reading Lab&Writing Lab

Reading Skills と Writing Skills のクラスの延長のクラス。午前中の授業に関する補足を行う、またこの時間に小テストの時間が設けられることもある。

x)English Café

英語を話す現地の人たちと自由に対話を行う時間である。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 語学力の向上

英語を日常的に使わざるを得ない状況に身を置くことで、英語を使うということに慣れる。留学以前に比べて、喋る前の考える時間が短くなったことを実感でき、また、英語のリスニングでもより多くの情報を得られるようになった。しかし、まだまだ使いこなせているというレベルではないので、さらなる精進が必要である。

ii) 積極性を身につける

日本に比べ、アメリカはより積極性を重視する国であり、授業内での発言など、日本で暮ら

していた時とは違う環境だった。その空気の中で、多少は発言ができるようになった。今までの自分と見比べた際、十分な進歩と考えられる。

iii) 異文化を体験する

授業だけではなく、街へ出ることで、そこに暮らす人々のふるまいを観察することができた。また感謝祭の休業日にはニューヨークへの旅行に行き、日本だけでなく、自分の暮らしていた地域との違いを見て感じる事ができた。異文化を体験するという経験は十分に果たせていると考える。

6 反省・課題

正直なところ、3 か月という時間は言語を習得するには短い時間であると考えられる。しかし、その中でもより能力を向上させる術はあった筈である。その時に自分にできる事は精一杯やったことは間違いなく言えるのだが、自分の中に甘えの様なものがあつたのも否定はできない。

この留学という大きな経験を活かし、今後の自分の成長の助けになればいいと考えている。

謝辞

今回の留学において、セントラルミズーリー大学にて、授業だけでなく日常生活でも様々な手助けや指導をしてくださった教員の **Jill Thomas** さん **Valerie Heming** さん、またインストラクターとして我々を手助けしていただいた **Katie Kim** さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。またお時間のない中、我々の留学までの手引きしてくださった、藤本直生先生、矢口裕子先生、小林伊織先生には心より感謝申し上げます。最後に、国際情報大学で用意していただきました留学補助の奨学金により、今回の留学への参加が実現し、有意義な経験が得られた事を、心から感謝いたします。

付録：留学日誌

8月22日 水曜日
アメリカ到着
前泊していたホテルから成田空港に移動し、飛行機に乗る。ダラス国際空港で乗り換えを行い、カンザス空港へと向かった。空港からは大学のバスで大学へと向かった。
8月23日 木曜日～8月24日 金曜日
オリエンテーション
クラスのレベル分けのためのテスト、学生証に当たるカードを作成するなど、ミズーリー大学で暮らすために必要な準備が行われた。24日にはヘルスケアセンターで予防接種の確認や、実際に予防接種を行うなどした。

8月24日 金曜日
バレーボールの試合観戦
UCMのバレーボールチームと他校の学生による試合があった。

8月27日 月曜日
授業開始
授業が開始された。初めての授業という事で、自己紹介などを中心とした授業となっていた。我々はセメスターの開始よりも少し遅れて到着したため、他の留学生たちに合わせて、少しだけ授業の内容が進んでいた。

9月6日 木曜日
誕生パーティー
誕生パーティーが行われた。アメリカの祝い方を体験するための催し物だった。簡易なリンボーだったり、アメリカ特有のゲームだったりをして遊んだ。容器の中の飴の数を予想してその数に一番近い人がそれを貰えるというようなものもあった。また、同日にアメリカンフットボールの試合があり、学内はお祭り状態だった。屋台の様なものがいくつも並び、パフォーマンスを行っている人などで賑やかだった。



9月14日 金曜日

カンザスシティへ

Top-Golf という場所でゴルフをした。ゴルフと言っても本格的なものではなく、ただ球を打ってどこに飛んだかで得点を競うという内容のものだった。複数のグループに分かれてゲームを行い。その後、Park-Place というマーケット群で買い物をした。スポーツ店や服屋が多く、カフェのようなところや、本屋もあった。店の形状はどれも日本の、狭い土地に効率よく建てようというものとは違い、広い土地を活かした横に広い建て方だった。

9月21日 金曜日

記念館へ

トルーマン大統領の建てた、記念館ともいえる建物に行った。大統領になった人は皆、自分の出身の州にこういった建物を建てるのが風習らしい。日本では見られない文化である。



9月27日 木曜日

誕生パーティー

前回とは趣向が違い、二人一組くらいになって、それに役が割り振られ、殺人犯を推測するというものだった。なかなか日本では見ないゲームである。

10月8日 月曜日

新 Semester 開始

新たな Semester が始まり、クラスのメンバーが少しだけ変わった。授業で取り組むテーマも少し変わり、新しい環境での授業となった。

10月11日 木曜日

ボーンファイア

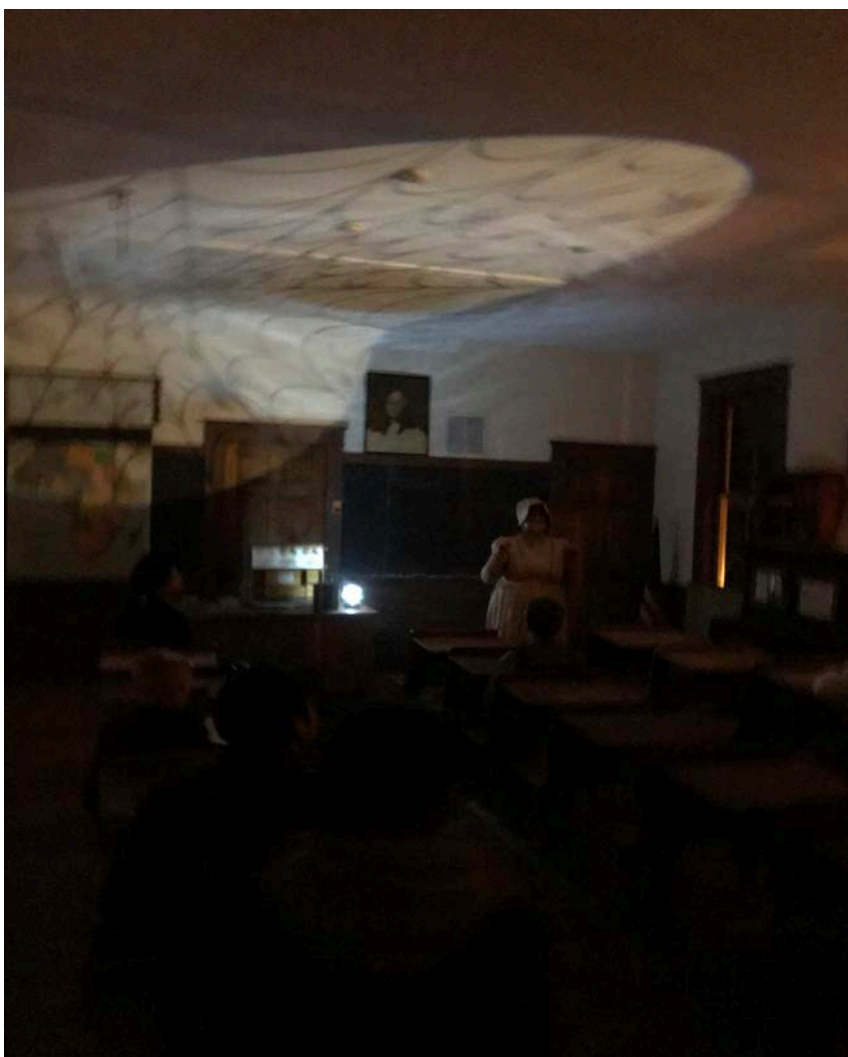
授業が終わってからあったイベントで、教会で、薪に火をくべて焚火にして、食べ物を焼いて食べるというものだった。その後、カボチャに絵の具でいろいろと描いて、ジャックオーランタンを作成した。キリスト教の文化を強く感じるイベントだった。



10月20日 土曜日

ホラーハウス

夜にホラーハウスに行った。お化け屋敷のようなところで、そこにいた人が物語形式で順番に話していき、それを体験するといったものだった。



10月27日 土曜日
パレード
着物を着てパレードに参加した。

10月31日 水曜日
ハロウィン
イベントがあったわけではないのだが、学内では仮装している人が散見できた。

11月1日 木曜日
映画鑑賞
映画館に行き、自分たちの見たい映画を鑑賞した。ホラーやアメコミなど、多岐にわたる選択肢があった。

11月2日 金曜日

演劇鑑賞
学生による演劇を鑑賞した。コメディや悲劇など、3つほどの劇が上演された。

11月8日 木曜日
雪
雪が降り始める。日本に比べると早いですが、積もる量はそこまで多くはない。しかし、気温はとても低く、雪が溶けるまでに時間がかかる。

11月12日 月曜日
サンクスギビングディナー
サンクスギビングデイの祝い方の体験として、先生方の家族や他の生徒達と共に夕食を共にした。バスで多少の移動をして、その会場に向かった。サンクスギビングデイにはターキーを食べる文化があるようで、ターキーを中心とした食事であった。

11月16日 金曜日～11月25日 日曜日
サンクスギビング休業
学生はこの休みを利用して、実家に帰ったり、旅行に行ったりする。また、サンクスギビングデイ中にはブラックフライデーという大安売りもある為、店は大変ににぎわう事になる。

11月29日 木曜日
授業最終日
最後の授業であった。この後に行われるテストで成績が決まる。

11月30日 金曜日
美術館、プラザ
最後のイベントで、美術館に行った。そしてその後、レストランに入り食事を行った。その後、プラザにて各自で買い物を行った。その一帯はイルミネーションで彩られていた。



12月3日 月曜日～12月4日 火曜日

テスト期間

所謂、期末テストが行われた。我々のコースの留学生は TOIC の実際のテストも行った。

12月5日 水曜日

ラストセレモニー

実質上の最終日、卒業式の様なものが行われた。セレモニーでは代表となる人がスピーチをしたり、トークしたりと生徒がその場を仕切って行われた。また、軽食が出る。最後には卒業証書が渡され、記念写真等も撮る。



12月6日 木曜日～12月7日 金曜日

アメリカ出国、日本到着

午前三時くらいの時間に学校をバスで出発、朝 8 時のフライトでカンザス空港を出発、行きと同じようにダラス空港を経由して日本へと飛んだ。日本に到着したのは午後の 6 時近くになった。そこから新幹線に乗っていくと早くても新潟に帰れるのは 9 時くらいになる。